

## 【特別展】地球を見る

～宇宙から見た神奈川～

平成13年10月20日(土)～12月16日(日)

はなれたところから、直接ものに触らず調べることをリモートセンシング(遠隔探査)といいます。天気予報に使われている気象衛星「ひまわり」から見た雲の画像は、宇宙からのリモートセンシングの有名な例です。宇宙からのリモートセンシ

ングには、一度に広範囲を見ることができただけでなく、定期的な観測とコンピュータ解析が可能という特徴があります。そのため気象だけではなく地形・地質や植生などといった地表面の様子を調べることが使われています。

今回の特別展では、地球観測衛星ランドサットなどから地球がどのように見えているのか、衛星画像に写しこまれている情報の見方を紹介します。

### ★主な展示

神奈川県、東京湾・相模湾、富士・箱根・丹沢などの衛星画像および鳥瞰図など。ランドサットデータを合成した縮尺20万分の1の画像地図は圧巻。特別展示室にて開催。

### ★特別展観覧料

20歳以上(学生を除く) 200円  
20歳未満・学生 100円  
高校生以下・65歳以上 無料

ライブラリー通信

## ケンペルとバーニー

毎年11月23日の勤労感謝の日に箱根芦ノ湖畔で「ケンペル・バーニー祭」という催しが行われているのを御存じですか。ケンペルは前号で紹介したようにドイツのレムゴー出身の博物学者で、元禄3年(1690年)に来日してオランダ商館長一行の江戸参府に二度に渡って加わり日本やアジアの事情をつぶさに調査して、本国に帰国後アジア諸国や日本に関する著作を発表した人です。

ケンペルの主著には『廻国奇観』と『日本誌』がありますが、このうち『日本誌』は前号でもお話ししたように彼の生存中には刊行されずに没後十年ほどしてから、それも母国のドイツではなくイギリスから1727年に刊行されました。実はケンペルの死後、彼の遺品は甥に相続されたのですが、経済的な理由からその遺品のほとんどはイギリス人のサー・ハンス・スローンの手に渡ります。スローン卿というのは大英博物館の父といわれていて彼の膨大なコレクションの遺贈が大英博物館設立の契機になったといわれている人物です。スローンはただちにドイツ語で書かれた『日本誌』の元原稿を英訳して1727年に『The History of Japan』というタイトルで刊行しました。このあと二年後には早くも蘭訳本、仏訳本が刊行されています。この『日本誌』は当時のヨーロッパに日本の姿を初めてほぼ正確に伝えたものとして高く評価され、その後の日本観をリードし続けることとなります。その後、ケンペルの『日本誌』は日本を訪れる西洋人にとってはいわば必読の書となり、江戸末期来航したペリー提督も携行していたといわれています。

一方バーニー氏というのはオーストラリア生まれのイギリス人貿易商で明治20年前後に来日して以来日本の自然を愛し、とりわけ箱根の自然や人々をこよなく愛した人で大正七年には芦ノ湖畔に別荘まで構えています。そのバーニー氏が1922年に彼の別荘地の一角に建立した碑に引用しているのがケンペルの『日本誌』の序文なのです。碑文にはケンペルの『日本誌』の序文と共にバーニー氏の「…此の光栄ある祖国をば更に美しく尊くして郷等の子孫に伝えられよ」と刻かれています。この碑は長い間地元の人々でさえ特別関心を寄せることもなく路傍にまるで忘れられたように立ち続けていました。それが昭和34年に神奈川県で全国レクリエーション大会が開かれ、その最終日の会場となった箱根において日本山岳協会会長を務めた楢有恒氏が「日本の自然保護の原点ともいべき碑だ」との指摘や、翌年の『自然保護』(日本自然保護協会刊)の創刊号でのバーニーの碑の紹介記事などを経て少しずつ知られるようになっていったようです。

ところで、バーニーの碑が広く知れ渡るようになった別の要因として昭和50年にエリザベス女王が来日した際にケンペルの『日本誌』に言及した晩餐会でのスピーチにあります。これらのことを契機としてバーニー氏とケンペルを顕彰しようという機運が地元箱根町を中心に高まり、昭和61年「ケンペル祭ーバーニーの碑を讀えてー」という名称でこの催しが始まりました。その後第十回からは現行の「ケンペル・バーニー祭」となって現在に至っています。

『ケンペル・バーニー祭』ではケンペルも歩いたであろう箱根の径を辿る企画が例年行われているようです。どなたでも参加できますので、今年の勤労感謝の日は箱根まで足を運んでみてはいかがでしょうか。平成13年11月からライブラリー横でケンペルに関するミニ展示を予定しています。箱根来訪の際は当館にもぜひお立ち寄りください。

<参考図書>

『ケンペルのみた日本』(日本放送出版協会)

『ケンペルの見たトクガワ・ジャパン 無限大 No.87』(日本アイ・ビー・エム)

『ケンペル・バーニー祭』(神奈川新聞社)

(司書 内田 潔)

## 催し物のご案内

### ●自然科学講演会

「恐竜復元～骨学入門～」[博物館]

日時/10月14日(日) 13:30～15:30

講師/犬塚則久氏(東京大学医学部)

対象/小学生以上80人

申込締切/10月2日(火)

### ●野外観察「身近な自然発見講座」[入生田]

日時/10月17日(水) 10:00～15:00

(11月21日、12月19日の水曜日にも開催)

対象/一般(人数制限なし)

申込締切/事前申込不要。当日、博物館正面入口前集合。雨天中止。

### ●特別展関連講演会

「宇宙から地球を見ると」[博物館]

日時/10月27日(土) 13:30～16:00

講師/小澤拓氏(国立極地研究所COE非常勤研究員) ほか

対象/一般70人

申込締切/10月9日(火)

### ●室内実習

かながわオープンカレッジ「神奈川の哺乳類」

日時/11月3日(土)・17日(土)・24日(土)・12月1日(土)の4日間 10:00～15:00

講師/箱根・丹沢地区の博物館・ビジターセンター学芸員、当館学芸員ほか

対象/一般40人 受講料/5,000円

申込締切/10月16日(火)

### ●野外観察「地形観察会」

[山北町丹沢湖周辺]

日時/11月3日(土) 10:00～15:00

対象/一般40人

申込締切/10月16日(火)

### ●野外観察と室内実習

「大地の生い立ちを探る」[博物館と酒匂川]

日時/12月8日(土)・9日(日)・22日(土)・23日(日)の4日間 10:00～15:00

対象/小学生以上20人

申込締切/11月20日(火)

### 参加について

上記の催し物について、事前申込が必要な場合があります。特に記載の無いものは参加無料です。応募多数の場合は抽選となります。参加方法や各行事についての詳細をお知りになりたい場合は、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ホームページでも詳細を見ることができます。

### 申込・お問い合わせ先

〒250-0031 小田原市入生田499

神奈川県立生命の星・地球博物館企画情報部

電話 0465-21-1515

ホームページ

<http://www.city.odawara.kanagawa.jp/museum/g.html>